

2016年3月期第1四半期 決算説明資料



とともに未来を拓く

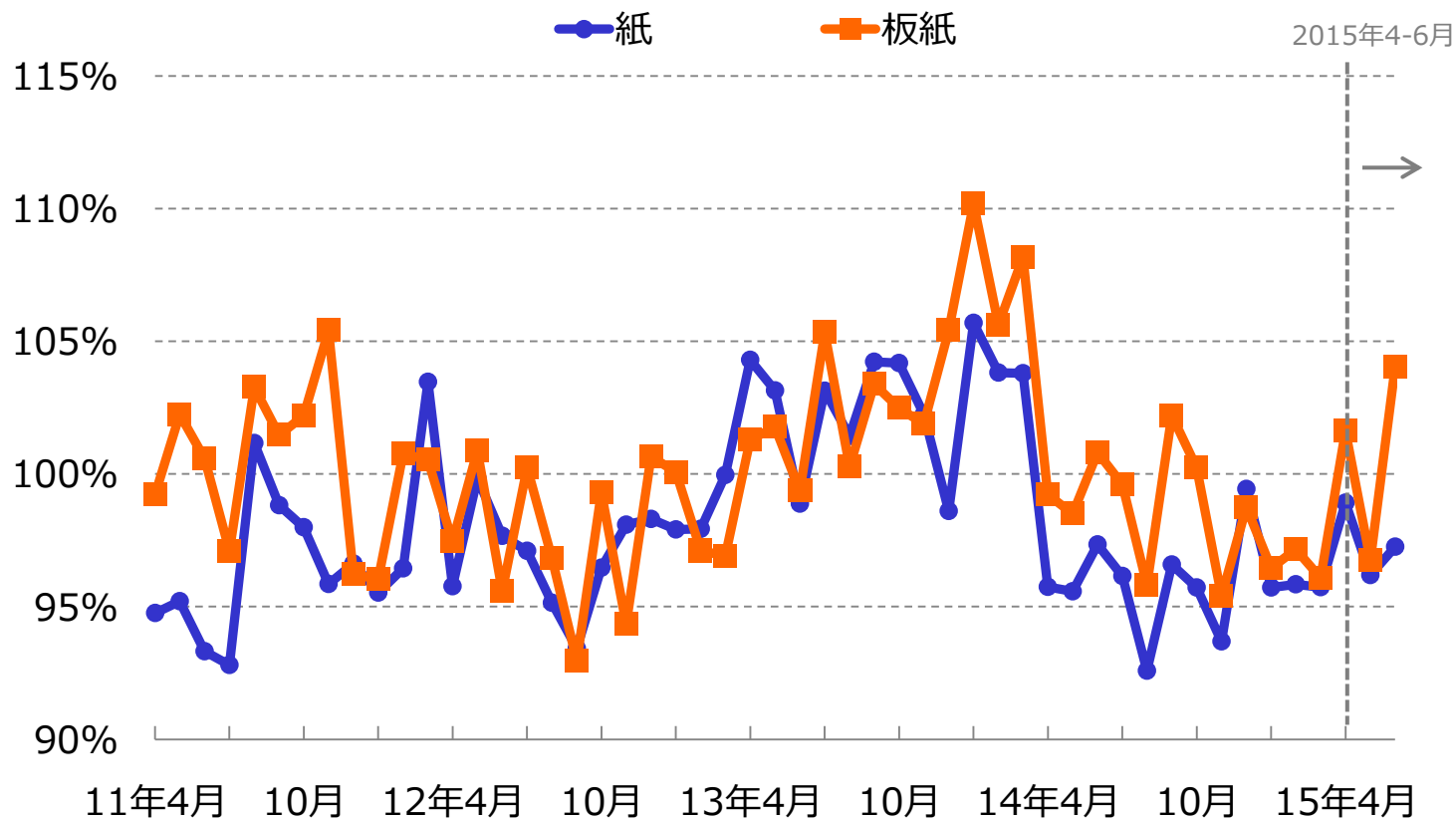
2015年8月5日

日本製紙株式会社

- (1) 2016年3月期 第1四半期 事業環境の概要
- (2) 2016年3月期 第1四半期 決算概要
- (3) 2016年3月期 業績見通し

紙出荷量は前年割れの状況が続く

メーカー国内出荷量 対前年比



出所：日本製紙連合会

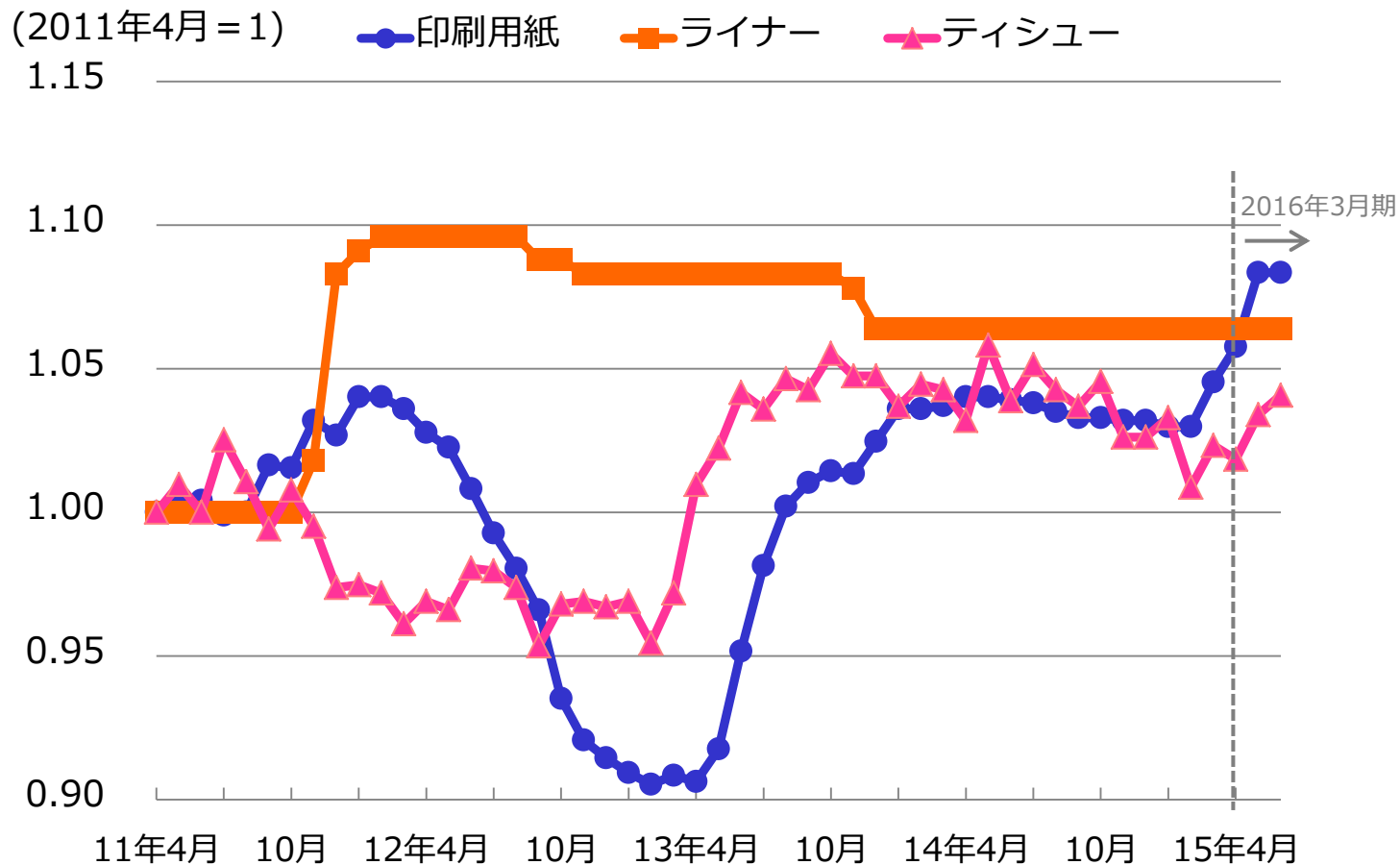
紙の内需は低迷、板紙は微増

		2015年4月～6月 国内メーカー販売実績				2015年4月～6月	
		国内		輸出		輸入	
		数量 (千t)	前年同期比	数量 (千t)	前年同期比	数量 (千t)	前年同期比
紙	新聞巻取紙	734	▲4.1%	0	51.5%	12	4.6%
	印刷・情報用紙	1,843	▲2.9%	148	9.9%	312	▲12.6%
	塗工印刷用紙※	1,041	▲3.5%	119	13.1%	142	▲21.3%
	非塗工／特殊印刷用紙	475	▲3.8%	20	6.7%	37	▲15.0%
	情報用紙	327	0.4%	9	▲16.2%	133	▲0.2%
	その他の紙 (包装・衛生・雑種紙等)	786	▲0.1%	60	13.6%	11	▲7.7%
合計		3,363	▲2.5%	204	8.2%	334	▲12.0%
板紙	段ボール原紙	2,206	2.0%	71	23.4%	19	▲21.0%
	紙器用板紙他	526	▲3.9%	6	18.5%	75	8.5%
	合計	2,733	0.8%	77	23.0%	94	1.0%
紙・板紙合計		6,095	▲1.0%	281	11.9%	428	▲9.4%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む。

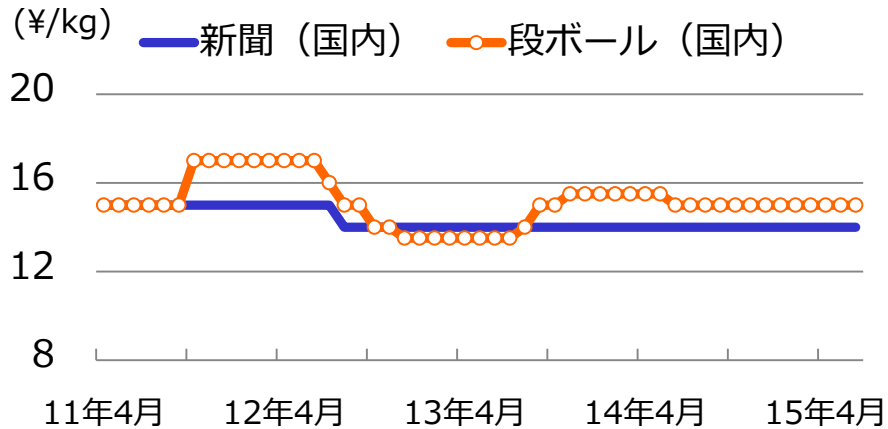
出所：日本製紙連合会

印刷用紙、家庭紙市況が上昇

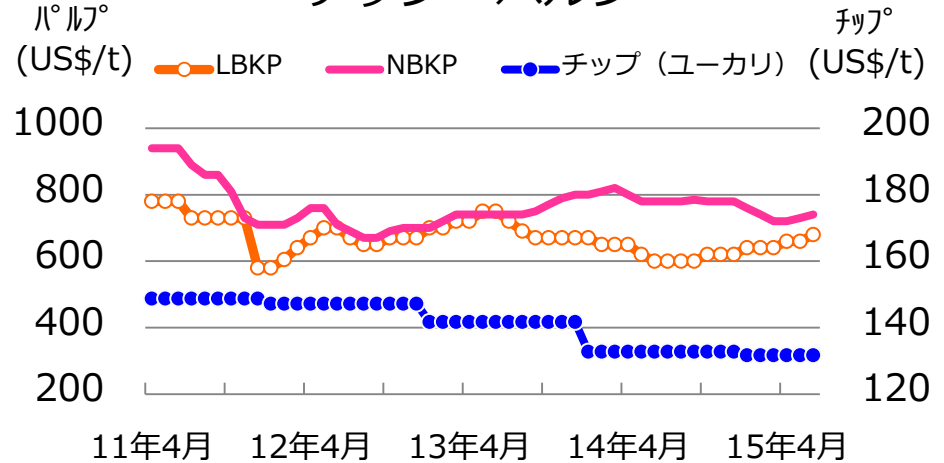


緩やかな円安傾向が続く

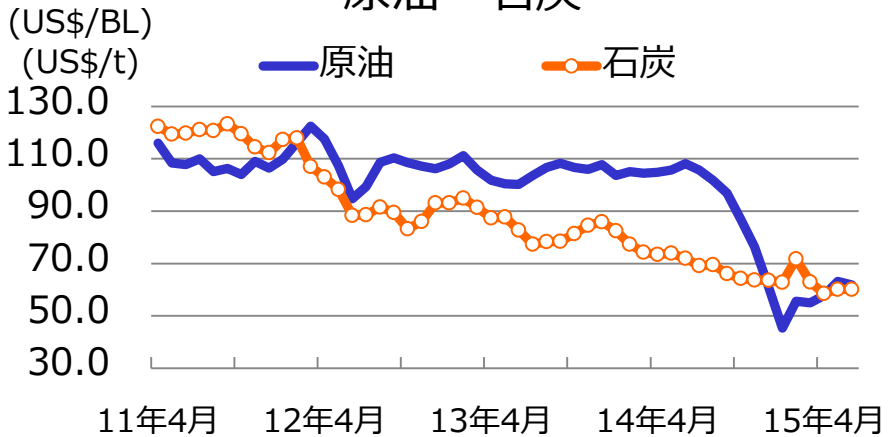
古紙



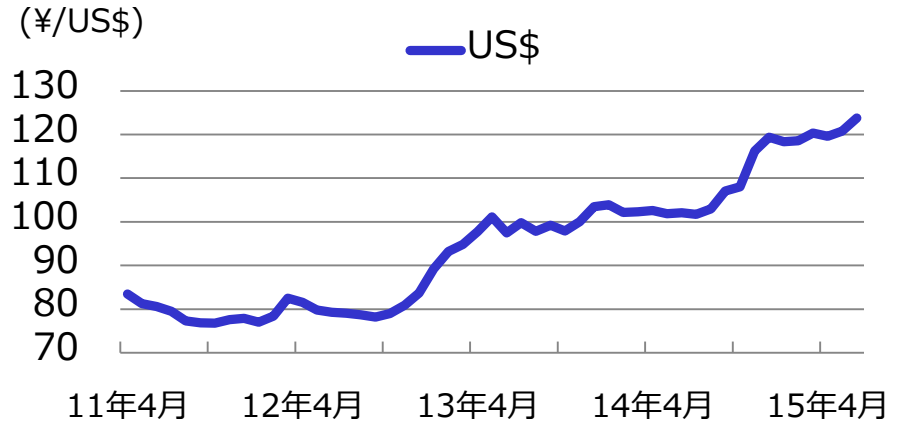
チップ・パルプ



原油・石炭



為替







出所：古紙再生促進センター、関東製紙原料直納商工組合、財務省貿易統計、原油=Platts、石炭=Global Coal Index

(単位:億円)	2016年3月期 第1四半期実績	2015年3月期 第1四半期実績	増減 (前年同期比)
<売上高>	2,519	2,552	▲33
<営業利益>	43	63	▲20
<経常利益>	107	60	47
<四半期純利益*>	126	32	94

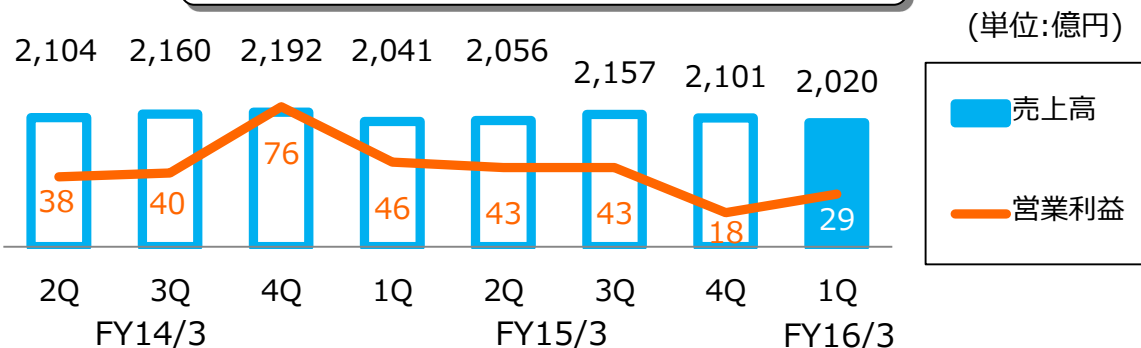
- ❑ 紙の国内販売減・清涼飲料販売減等により減収
- ❑ 円安による原燃料コスト高等により営業減益
- ❑ 理文造紙社全株式売却にて売却益165億円・
四国コカコーラ社株式売却については売却損▲161億円
を計上

価格修正にて原燃料高影響を補うも減益

(単位：億円)	売上高			営業利益		
	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	前年同期比 増減	2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	前年同期比 増減
紙パルプ	2,041	2,020	▲ 21	46	29	▲ 18
紙関連	225	221	▲ 3	12	8	▲ 4
木材・建材・ 土木建設関連	139	143	5	4	6	2
その他	148	135	▲ 13	1	0	▲ 0
合計	2,552	2,519	▲ 33	63	43	▲ 20

<p>洋紙</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 数量：▲2.4%（国内：▲3.2% 輸出：+10.5%） →新聞部数減、印刷用紙の低迷により販売減 価格：価格修正が浸透
<p>板紙</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 数量：▲0.3%（国内：▲0.4% 輸出：+2.3%） →飲料、青果物関係を中心に堅調に推移 価格：修正後の価格を維持
<p>家庭紙</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 数量：前年は消費増税仮需の反動減もあり、家庭紙・ヘルスケアともに販売増
<p>その他</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 数量：2015年6月八代工場のバイオマス発電設備稼働

売上高・営業利益の推移





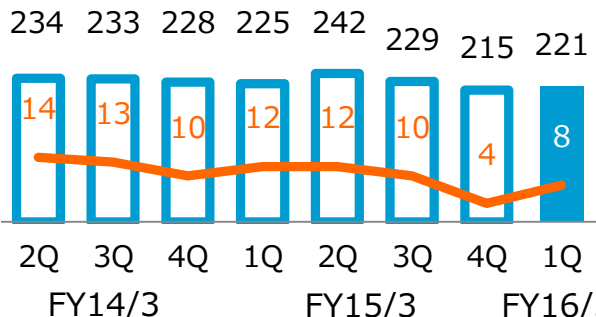

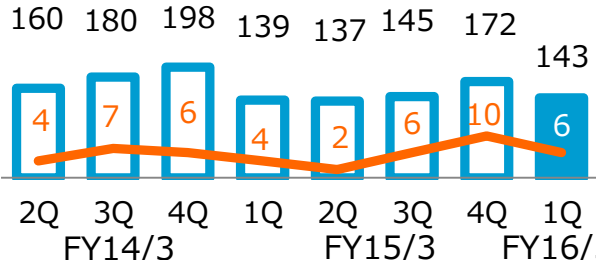

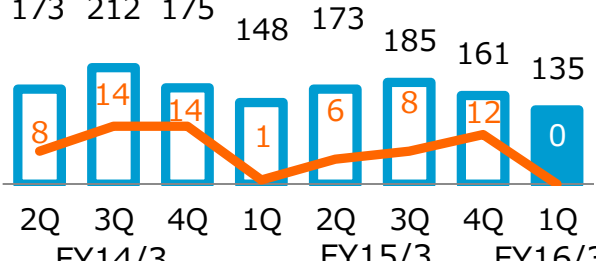
輸出強化により国内販売の減少を緩和

(単位：千トン)

		2015年3月期 第1四半期	2016年3月期 第1四半期	前年同期比
紙	新聞用紙	274	263	▲4.0%
	印刷・情報用紙	601	579	▲3.7%
	塗工紙	323	316	▲2.3%
	非塗工紙	137	129	▲5.9%
	情報用紙	140	134	▲4.8%
	包装・雑種紙他	76	78	3.6%
	国内	950	920	▲3.2%
輸出	56	62	10.5%	
紙合計		1,006	981	▲2.4%
板紙	段ボール原紙	299	299	0.1%
	紙器用板紙他	91	89	▲2.3%
	国内	390	388	▲0.4%
	輸出	22	23	2.3%
板紙合計		412	411	▲0.3%
紙・板紙合計		1,418	1,392	▲1.8%

日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシアの販売数量合計 (衛生用紙を除く)

(2) 決算概要 -紙関連事業、木材・建材・土木建設関連事業、
 その他事業

	事業概況	売上高・営業利益の推移 																											
<p>紙関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 液体用紙容器（紙パック）事業は、お茶や野菜・果汁飲料の不振などにより、販売減。 ケミカル事業は、パルプ、化成品は堅調だが、機能性フィルムが低迷。 	 <table border="1"> <caption>紙関連事業の売上高・営業利益推移 (単位: 億円)</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>売上高</th> <th>営業利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY14/3 2Q</td><td>234</td><td>14</td></tr> <tr><td>FY14/3 3Q</td><td>233</td><td>13</td></tr> <tr><td>FY14/3 4Q</td><td>228</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY15/3 1Q</td><td>225</td><td>12</td></tr> <tr><td>FY15/3 2Q</td><td>242</td><td>12</td></tr> <tr><td>FY15/3 3Q</td><td>229</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>215</td><td>4</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>221</td><td>8</td></tr> </tbody> </table>	期	売上高	営業利益	FY14/3 2Q	234	14	FY14/3 3Q	233	13	FY14/3 4Q	228	10	FY15/3 1Q	225	12	FY15/3 2Q	242	12	FY15/3 3Q	229	10	FY15/3 4Q	215	4	FY16/3 1Q	221	8
期	売上高	営業利益																											
FY14/3 2Q	234	14																											
FY14/3 3Q	233	13																											
FY14/3 4Q	228	10																											
FY15/3 1Q	225	12																											
FY15/3 2Q	242	12																											
FY15/3 3Q	229	10																											
FY15/3 4Q	215	4																											
FY16/3 1Q	221	8																											
<p>木材・建材・土木建設関連事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 前年の消費税増税の反動減から緩やかに持ち直しの兆しもあり、増収・増益。 	 <table border="1"> <caption>木材・建材・土木建設関連事業の売上高・営業利益推移 (単位: 億円)</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>売上高</th> <th>営業利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY14/3 2Q</td><td>160</td><td>4</td></tr> <tr><td>FY14/3 3Q</td><td>180</td><td>7</td></tr> <tr><td>FY14/3 4Q</td><td>198</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY15/3 1Q</td><td>139</td><td>4</td></tr> <tr><td>FY15/3 2Q</td><td>137</td><td>2</td></tr> <tr><td>FY15/3 3Q</td><td>145</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>172</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>143</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	期	売上高	営業利益	FY14/3 2Q	160	4	FY14/3 3Q	180	7	FY14/3 4Q	198	6	FY15/3 1Q	139	4	FY15/3 2Q	137	2	FY15/3 3Q	145	6	FY15/3 4Q	172	10	FY16/3 1Q	143	6
期	売上高	営業利益																											
FY14/3 2Q	160	4																											
FY14/3 3Q	180	7																											
FY14/3 4Q	198	6																											
FY15/3 1Q	139	4																											
FY15/3 2Q	137	2																											
FY15/3 3Q	145	6																											
FY15/3 4Q	172	10																											
FY16/3 1Q	143	6																											
<p>その他事業</p> 	<ul style="list-style-type: none"> 清涼飲料事業で苦戦。 	 <table border="1"> <caption>その他事業の売上高・営業利益推移 (単位: 億円)</caption> <thead> <tr> <th>期</th> <th>売上高</th> <th>営業利益</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY14/3 2Q</td><td>173</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY14/3 3Q</td><td>212</td><td>14</td></tr> <tr><td>FY14/3 4Q</td><td>175</td><td>14</td></tr> <tr><td>FY15/3 1Q</td><td>148</td><td>1</td></tr> <tr><td>FY15/3 2Q</td><td>173</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY15/3 3Q</td><td>185</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>161</td><td>12</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>135</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>	期	売上高	営業利益	FY14/3 2Q	173	8	FY14/3 3Q	212	14	FY14/3 4Q	175	14	FY15/3 1Q	148	1	FY15/3 2Q	173	6	FY15/3 3Q	185	8	FY15/3 4Q	161	12	FY16/3 1Q	135	0
期	売上高	営業利益																											
FY14/3 2Q	173	8																											
FY14/3 3Q	212	14																											
FY14/3 4Q	175	14																											
FY15/3 1Q	148	1																											
FY15/3 2Q	173	6																											
FY15/3 3Q	185	8																											
FY15/3 4Q	161	12																											
FY16/3 1Q	135	0																											

価格修正・原価改善による増益効果はあるも、
販売数量減・原材料価格上昇により減益

営業利益 ▲ 20億円

(単位：億円)

原燃料価格
▲ 28

その他
▲ 14

数量・売価
+ 12

原価改善等
+ 10

63

43

2015年3月期
第1四半期

2016年3月期
第1四半期

(単位:億円)	2016年3月期 見通し	前年度実績
<売上高>	10,600	10,525
<営業利益>	320	237
<経常利益>	300	232
<当期純利益>	150	232

2016年3月期の業績見通しにつきましては
2015年5月15日発表数値から変更ありません

注意事項

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社